

## 文化祭に参加しました!!

2月11日から3月1日まで島田文化祭が行われ、ピコピコルームも展示を行いました。毎年、スイッチを使っての様々なアクションが好評のピコピコルームの展示です。そこで、今年はどんな展示にしようか係で話し合った結果、以前から交流のあったリハビリ遊具の工房の川島さんにご相談させていただくことになりました。リハビリ遊具の工房さんは、様々な仕掛けの玩具を手作りしていて、その中からいくつかの玩具をお借りしました。スイッチを押



すと綺麗に光る玩具は、「アナと雪の女王」のエルサが魔法をかけているように装飾しました。また、型をはめると「アンパンマン」や「ドラえもん」のオルゴールが流れる玩具は「妖怪ウォッチ」で装飾しました。エルサの方は綺麗に光ることで視覚で楽しんでいただくことが、妖怪ウォッチはパズル感覚と、聴覚とで楽しんでいただくことができ、とても好評でした。今回初めて外部の方の協力を得ることで、いつもと違った展示をすることができました。



これからもこういった交流を大切に、ピコピコを盛り上げていけたらいいと思います。リハビリ遊具の工房 川島さん本当にありがとうございました。

(文責：5病棟 椛田)





## こども脳機能バランサーの 操作デモを実施しました!!

ピコピコルームでは、以前からレテックス株式会社の「こども脳機能バランサー」を導入し、日々のリハビリ訓練の中で利用してきました。最近では iPad 版も追加され、ますます使いやすくなってきたソフトですが、ここで改めて一度、職員向け操作デモを行うことにしました。



昨年 11 月の話になりますが、レテックス株式会社の取締役の五藤様にお越しいただき、お昼休みの時間を利用したランチョンセミナー形式での操作デモを実施いたしました。主にソフトを利用するリハビリスタッフ約 20 名が参加し、実際に画面を見て試せるようにソフトの入っているパソコンも用意しました。

このソフトは、タスクを行っている間に「操作している時間」や「左右のミス率」など様々な項目を収集していて、実施後にお子さんの特性がわかるように作られています。また、一つの利用者アカウントを利用者一人で使い続けることで、データが蓄積して経時的変化が見られるようになっているとのことでした。ピコピコルームでは一つのアカウントを複数の利用者で共有して使っているのですが、上位版なら複数の利用者が登録できる上、どのパソコンからでもそのデータを参照できるようになっているとのことでした。また、開発中の聴覚認知バランサーについてもご紹介をいただき、参加者も興味深そうに説明を聞いていました。この操作デモのあと、早速リハビリ訓練でこども脳機能バランサーを利用するスタッフもあり、今後もリハビリ訓練のツールの一つとして活用が期待されます。



(地域情報連携室：神田)